

いわて平泉米だより

令和3年5月号



倒伏を防ぐためには、イネの下位節間を充実させることが重要です。ケイ酸質肥料の施用により、下位節間のケイ酸濃度を高め丈夫にすることで、倒伏の被害を軽減させることが期待できます。

また、ケイ化細胞を強化させ茎葉が硬くなり、いもち病予防やもみ割れ防止により斑点米被害の軽減効果が期待できます。

例えば、「けい酸加里プレミアム34」が有効です。



施肥方法と施肥量

基肥施肥と中間施肥、どちらでも利用が可能です。ク溶性加里と可溶性ケイ酸が根からゆっくり吸収されるので、基肥施用でも生育後半まで肥効が継続します。